

12月の図書館だより

No. 476 [2023 (令和5) 年12月号]

草津市立図書館

☎ 077-565-1818


FAX 077-565-0903

草津市立南草津図書館

☎ 077-567-0373

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
					1	2	・1983 (昭和58) 年7月1日に開館して以来、草津市立図書館 (本館) は今年で40周年を迎えました。記念行事 (イベント) も続々開催・準備中です。ご期待ください！
3	4 南館休	5 本館休	6	7	8	9 H① M①	
10	11 南館休	12 本館休	13	14 H②	15	16	・「資料貸出券」は、草津市立図書館 (本館) ・草津市立南草津図書館 (南館) ・移動図書館とも共通です。
17 H③	18 南館休	19 本館休	20	21 M②	22	23 H④ M③	
24 M④	25 南館休	26 本館休	27	28 両館休	29 両館休	30 両館休	・12月28日 (木) から1月4日 (木) は年末年始にともなう休館日となります。この期間は返却用ポストも御利用できません。資料の返却は2024年1月5日 (金) 以降にお願いします。御迷惑をおかけいたしますが御協力お願いいたします。
31 両館休	年末年始休館 (～1/4)						
開館日	●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時						
休館日	●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始 [12月28日～1月4日]						

= EVENTS =	
●草津市立図書館 (本館) … H	○草津市立南草津図書館 (南館) … M
H①: こどものつどい (キッズデー) 日時 9日 (土) 14時30分～15時15分 会場 3階 大会議室 対象 幼児～小学校中学年 定員 50名程度 (当日先着受付) 内容 人形劇トロッコさんによる人形劇	M①: こどものつどい (キッズデー) 日時 9日 (土) 11時～11時45分 会場 市民交流プラザ 大会議室 対象 幼児～小学校中学年 定員 20組程度 (当日先着受付) 内容 人形劇トロッコさんによる人形劇
H②: 木曜おはなしのじかん (キッズデー) 日時 14日 (木) 11時～11時30分 会場 2階 会議室 対象 乳幼児と保護者の方 定員 10組程度 (当日先着受付) 内容 手遊び、絵本の開き読みなど	M②: 木曜おはなしのじかん (キッズデー) 日時 21日 (木) 11時～11時30分 会場 絵本コーナー 対象 乳幼児と保護者の方 内容 手遊び、絵本の開き読みなど
H③: 草津市立図書館開館40周年記念 声優朗読劇「太陽が痛いほどいっぱい」 日時 17日 (日) 13時30分～15時30分 会場 3階 大会議室 対象 どなたでも (市内在住・在学の中高校生優先) 定員 100名程度 (※申し込み等はコチラ→)  内容 若手声優による朗読とフルート奏者による演奏が融合した朗読劇	M③: おはなしのじかん 日時 23日 (土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど
H④: おはなしのじかん 日時 23日 (土) 14時30分～15時 会場 絵本コーナー 対象 幼児 内容 絵本の開き読みなど	M④: クリスマス・クイズラリー 日時 24日 (日) 10時～19時 会場 南草津図書館 館内 対象 どなたでも 内容 図書館や本に関するクイズ 備考 事前申し込み不要 お気軽にご参加ください

新着図書を紹介 2023年12月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。(返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。)
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。(電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。)

No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	007.3	デジタル関係法のツボとコツがゼッタイにわかる本	楠目 聖／著	41	501.6	武器としてのエネルギー地政学	岩瀬 昇／著	81	902.09 ユ	文学は地球を想像する	結城 正美／著
2	010.2	一生に一度は行きたい世界の美しい書店・図書館		42	516.71	新幹線全史	竹内 正浩／著	82	904 ア	事務に踊る人々	阿部 公彦／著
3	019.9	ビブリオバトルガイドブック	ビブリオバトル普及委員会／編著	43	521.85	につぼん歴史町めぐり		83	910.2 テ	泣く男	寺田 英視／著
4	021.4	知りたいレイアウトデザイン	ARENSKI／著	44	530	今と未来がわかる身近な機械	森下 信／著	84	911.132 オ	小町はどんな女	高樹 のぶ子／著
5	069.021	世にも至宝な博物館	丹治 俊樹／著	45	559.7	原爆投下、米国人医師は何を見たか	ジェームズ・L.ノーラン Jr.／著	85	911.168 キ	荻窪メリーゴーランド	木下 龍也／著
6	070.4	新聞は偉そうに嘘をつく	高山 正之／著	46	576.17	知っておいしいオイル事典	小林 弘幸／監修	86	911.56 タ	いまここ	谷川 俊太郎／詩
7	104	訂正する力	東 浩紀／著	47	585.6	日本史を支えてきた和紙の話	朽見 行雄／著	87	913.36 ム	フェミニスト紫式部の生活と意見	奥山 景布子／著
8	141.5	実践!クリティカル・シンキング	丹治 信春／著	48	590	55歳、小さなひとり暮らし	しよ〜こ／著	88	913.6 ア	午後のチャイムが鳴るまでは	阿津川 辰海／著
9	146.814	無意識さんの力でぐっすり眠れる本	大嶋 信頼／著	49	594.3	てぶくろの編み方ハンドブック		89	913.6 ア	月のうらがわ	麻宮 好／著
10	159 イ	踏まれても立ち上がらないことにした	稲垣 真衣／著	50	595.5	#推し活メイク	劇団雌猫／監修	90	913.6 ア	迷彩色の男	安堂 ホセ／著
11	198.22	キリスト教の100聖人	島田 裕巳／著	51	596	食事と暮らし		91	913.6 イ	あなたに心はありますか?	一本木 透／著
12	210.37	平安貴族とは何か	倉本 一宏／著	52	596.21	いちばん癒やされる家の和ごはん		92	913.6 オ	猫弁と狼少女	大山 淳子／著
13	210.74	南京事件と新聞報道	上丸 洋一／著	53	596.3	からだの中から整うおかゆレシピ	堤 人美／著	93	913.6 オ	治験島	岡田 秀文／著
14	281.04	どんマイナー武将伝説	長谷川 ヨシテル／著	54	596.65	はなのお菓子	はな／著	94	913.6 オ	隣人を疑うなかれ	織守 きょうや／著
15	289.1 モ	人の力を活かすリーダーシップ	盛田 正明／著	55	596.7	ウイスキーハイボール大全	いしかわ あさこ／監修・著	95	913.6 カ	ドードー鳥と孤独鳥	川端 裕人／著
16	289.3 エ	エリザベートと黄昏のハプスブルク帝国	小宮 正安／著	56	597.5	人生が変わる1日1つ断捨離	やました ひでこ／著	96	913.6 サ	人間みたいに生きている	佐原 ひかり／著
17	291.09	誰も国境を知らない	西牟田 靖／著	57	598.2	はじめてママ&パパの妊娠・出産	安達 知子／監修	97	913.6 シ	襷がけの二人	嶋津 輝／著
18	304	街場の成熟論	内田 樹／著	58	611.1	都市農業新時代	中塚 華奈／編著	98	913.6 シ	エレファントヘッド	白井 智之／著
19	313.7	知らないやばい民主主義の歴史	宇山 卓栄／著	59	653.17	里山	今森 光彦／著	99	913.6 セ	近畿地方のある場所について	背筋／著
20	318	13歳から考えるまちづくり	岡田 知弘／監修	60	654.8	ヒグマは見ている	内山 岳志／著	100	913.6 タ	可哀想な蠅	武田 綾乃／著
21	319.380386	終わらない戦争	小泉 悠／著	61	673.97	お客さん物語	稲田 俊輔／著	101	913.6 タ	ヒマかつ!	日明 恩／著
22	321.04	まだ、法学を知らない君へ	東京大学法学部「現代と法」委員会／編	62	675	孤独とつながりの消費論	三浦 展／著	102	913.6 タ	今日の花を摘む	田中 兆子／著
23	336.3	何でも言える職場はどっち?	池本 克之／著	63	689.21	日本懐かし観光大全	山田 孝之／著	103	913.6 ナ	好きです、死んでください	中村 あき／著
24	361.4	同調圧力	キャス・サンスティーン／著	64	704	美術の愉しみ方	山梨 俊夫／著	104	913.6 ナ	列	中村 文則／著
25	361.5	オタクと推しの経済学	牧 和生／著	65	720.7	美術の進路相談	イトウ ハジメ／著	105	913.6 ナ	スピノザの診察室	夏川 草介／著
26	361.86	差別する人の研究	阿久澤 麻理子／著	66	723.53	バスキア	パオロ・バリージ／作	106	913.6 ブ	私労働小説	ブレイディみかこ／著
27	366.38	なぜ男女の賃金に格差があるのか	クラウドディア・ゴールドフィン／著	67	726.101	猫がいれば、そこが我が家	ヤマザキ マリ／著	107	913.6 ミ	八色ヨハネ先生	三宅 威仁／著
28	367.1	10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」	森山 至貴／著	68	726.6	絵本龍潭譚	泉 鏡花／さく	108	913.6 モ	情景の殺人者	森 博嗣／著
29	369.27	異端の福祉	高浜 敏之／著	69	726.9	きりえや偽本図書館	高木 亮／著	109	914.6 サ	夢ノ町本通り	沢木 耕太郎／著
30	371.42	いじめられっ子だった弁護士が教える自分の身のまもり方	菅野 朋子／著	70	732.56	ホセ・グアダルーパー・ポサダの時代	長谷川 ニナ／著	110	914.6 セ	その落とし物は誰かの形見かもしれない	せきしろ／著
31	375.312	主権者を育てる社会科の授業	脇坂 圭悟／著	71	751	ゆる金継ぎ	藤野 佳菜子／著	111	914.6 ナ	歌わないキビタキ	梨木 香歩／著
32	392.107	昭和史からの警鐘	吉田 敏浩／著	72	762.06	パリの音楽サロン	青柳 いづみこ／著	112	914.6 ヤ	八十の坂を上る	山口 昇／著
33	412	ガウスの黄金定理	西来路 文朗／著	73	767.8	昭和歌謡ものがたり	松井 信幸／著	113	914.6 ワ	ひとりだと感じたときあなたは探していた言葉に出会う	若松 英輔／著
34	445	世界で一番美しい太陽系図鑑	マーカス・チャウン／著	74	783.47	天日干し経営	村井 満／著	114	916 ム	実母と義母	村井 理子／著
35	451.2	ようこそ!富士山測候所へ	長谷川 敦／著	75	791	「凜とした人」になる和の教養手帖	竹田 理絵／著	115	923.7 チ	亡霊の地	陳 思宏／著
36	486.04	虫への愛が止まらない	平坂 寛／著	76	796.021	藤井聡太は、こう考える	杉本 昌隆／著	116	932.5 シ	妄想シェイクスピア酒場	入江 和生／著
37	490.2	世界史は病気が変えてきた	坂井 建雄／著	77	801.1	世界文字の大図鑑	コンスタンティノフ／文・絵	117	932.7 テ	九番目の招待客	オーエン・デイヴィス／著
38	495	娘と話す、からだ・こころ・性のこと	高尾 美穂／著	78	810	一度読んだら絶対に忘れない国語の教科書	辻 孝宗／著	118	933.6 ホ	黒猫	エドガー・アラン・ポー／著
39	498.39	人生の優先順位を明確にする1分マインドフルネス	望月 俊孝／著	79	810.7	たったの72パターンでこんなに話せる日本語	徳山 隆／著	119	933.7 ウ	書架の探偵、貸出中	ジーン・ウルフ／著
40	498.8	職場の発達障害	岩波 明／著	80	837.8	あてはめて使うだけ英語の超万能フレーズ78	デイビッド・セイン／著	120	953.7 ル	アウシュヴィッツを泳いだ男	ルノー・ルブロン／著

- 草津市立図書館トップページ(PC用): <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>



- 図書館からの予約連絡用メールアドレス: kusatsu_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

今月の新刊から



『イラストでひもとく
仏像のフシギ』
田中 ひろみ／著（小学館）
718【本館所蔵】

本書は、仏像をこよなく愛するイラストレーター・文筆家の著者が、今まで全国をめぐり、書籍を読んで得た知識をもとに書かれています。仏像の種類、約束事、構造、魅力4章に分けて、仏像のフシギをひとつずつひもといいていきます。

仏像の基礎知識から、仏像の髪型は何を表すか、千手観音の持ち物検査など、マニアックな内容まで紹介されています。個性豊かな仏像のイラストと共に初心者でも分かりやすいように解説されているので、楽しく読み進められます。

登場する仏像のイラストそれぞれのふきだしの中にひと言がそえられていることにより、どこか親しみを感じられる所も本書の魅力の一つです。

仏像の意味や言い伝えを知ってからお寺で拝観すると、以前とは見え方が変わってくるかもしれません。フシギな仏像の世界をのぞいてみませんか？
(本館 瀧本)

左利きは芸術関係に秀でている人が多いといわれることがあり、良い印象があるのですが、左利き用のはさみの存在を知った時に、左利きの人は通常のはさみが使いにくいということ、また他にもたくさんの不都合があることを認識しました。

本書は、左利きの著者が右利きは右手ばかり使うのになぜ左利きは物事によって左右を使い分けるケースが多いのかという疑問から文化的な背景や歴史に埋もれた左利きの姿を追いつつ、左利きの苦難の歴史と現状を解説し、暮らしやすい社会を生むための取り組み、また左利きの坂本龍一や両利きと伝えられるレオナルド・ダ・ヴィンチなどの著名人のエピソードを紹介しています。

道具だけでなく設備、意識など社会が右利き優位であり、少数派の左利きは様々なストレスを抱えています。左利きの世界を理解することで、お互いが共感し、思いやれる社会に変わっていけるのではないのでしょうか。

(南館 和田)



『左利きの言い分』
大路 直哉／著
(PHP 研究所)
491.37【南館所蔵】

司書のおすすめ



『聞く技術
聞いてもらう技術』
東畑 開人／著
(筑摩書房)
2022年
361.454
【両館所蔵】

「なんでちゃんと聞いてくれないの？」という言葉を目にしたことはありますか？パートナーや家族、職場の人との関係が上手くいかなかったり、政治や社会問題で人と対立したりする時、人は正常に「聞く」ことができなくなってしまおうそうです。

本書は、臨床心理士である著者が、人の話が聞けない、あるいは人に話を聞いてもらえない原因を紐解き、「聞く」ために必要なことや「聞く」ことのちからについて分かりやすく解説しています。

聞く技術として、「眉毛にしゃべらせよう」や「返事は遅く」など12の小手先の技術が紹介されています。しかし、これは人の話をちゃんと聞ける時に使える技術であって、自分のことに必死で人の話を聞く余裕がない時には通用しないのです。

話を聞けない要因には、「孤独」が大きく関係しているといえます。全身やけどを負ったある少女が治療で激しい痛みを苦しんでいる際に、ただ聞いてもらうだけで前よりもずっと痛みを耐えることができたそうです。自分の孤独を誰かが分かってくれていることで心にゆとりが生まれます。そこで、著者は、<「聞く」ためにはまず「聞いてもらう」ことから始めよう>と述べています。特に当事者同士ではなく、第三者に聞いてもらうとよいそうです。聞いてもらう技術については、日常編と緊急事態編の二つに分けて紹介されています。

「聞いてもらえているから、聞くことができる。つながりの連鎖こそが必要で。」という言葉に、人と人とのつながりは大切だと改めて気づかされました。話を聞いてもらえる人がいることはとてもありがたいことであり、反対に誰かの話を聞くことはその人にとってとても大きな支えになると感じました。対人関係で悩んでいる人は多いと思います。心に大きな傷を負う前に、まずは「聞いてもらう」から始めてみませんか？
(本館 神村)